

令和6年度 フレンズあすわ 児童発達支援事業ガイドライン事業所評価

ご意見への回答及び改善報告、今後の取り組みについて（抜粋）

令和6年12月に実施しました「児童発達支援事業ガイドライン」に基づく保護者様向けアンケートにおいて、たくさんのご意見を頂きました。フレンズあすわでは、保護者様からのご意見を基に改善に向けた取り組みをしてまいりましたので、その結果の一部をご報告させていただきます。

今後とも皆様に信頼されるサービス提供に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

管理者 渡辺 浩基

※赤字=保護者向けアンケートのご意見 黒字=アンケート実施時の回答 青字=改善報告、今後の取り組み

改善取り組み報案内告:令和7年12月1日

	チェック項目、ご意見	回答及び改善報告、今後の取り組み
環境・体制整備	<p>3. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされていると思いますか。</p> <p>保護者様アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどももすぐに馴染めたので工夫されていると思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各居室に手洗い場や収納スペースが確保され、移動も少なく活動に集中できるよう工夫されています。またそれらがこども達の刺激とならぬよう扉で隠せるよう構造化もされています。 ・スケジュールや指示書等、各居室に視覚情報を整え、活動を遂行しています。 ・屋内はバリアフリーですが、玄関先や園庭への段差、押戸などがあるため、車いす等ではスムーズに移動できない箇所があります。 ・上記の場所に、段差スロープや段差プレートを設置し、車いすやバギーで移動しやすい環境を増やしていきます。
適切な支援の提供	<p>10. 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。</p> <p>保護者アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習とレクリエーションの中でルールを身につけられる等、メリハリをつけて活動できるよう工夫されていると思います。 ・その他具体的なお意見の記入はありませんでしたが「わからない」の回答が23%ありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月クラススタッフで会議を重ね、利用者様の様子やアセスメントを繰り返しながら活動内容の検討を行っております。活動内容は、主に季節に応じた文化活動等を取り入れ実施しています。 ・活動内容に関しましては、毎月のフレンズ通信にて計画や活動の狙いを提示、発信させていただいています。 ・今年度より支援プログラムが、事業所HPにて公開されております。5領域に沿った狙いや活動内容の大まかな目的を提示させていただいております。フレンズ通信や連絡帳の内容と照らしながらご覧ください。
非常時等の対応	<p>24. 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。</p> <p>保護者アンケートより</p> <p>具体的なお意見の記入はありませんでしたが「わからない」の回答が46%ありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時対応訓練及び、不審者対応訓練等について年間計画を作成し、毎月計画的な実施を行っています。 ・利用者様が見通しを持って安心して訓練ができるよう、絵や写真の視覚情報を活用したり、防災頭巾の着用の練習を行っています。 <p>令和7年度における非常時等の対応に関する訓練及び研修会等の主な実施状況は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災想定避難訓練及び消防設備点検2回 ・水害想定避難訓練1回 ・小児救急講習の全職員受講（毎年1回以上） ・不審者対応訓練1回 ・職員招集訓練1回 ・感染症対策・対応研修1回 ・BCP(事業継続計画)策定講習受講及び策定 <p>これからも様々な不測の事態に必要な対応が出来るよう、計画的な訓練の実施や、学びの機会を増やしてまいります。</p> <p>毎月の訓練の様子は、フレンズ通信でも発信していますので、ぜひご覧ください。</p>